

- 問1 京都府や兵庫県において、製造業の出荷額が高い一方で、農業では野菜や畜産の産出額が上位を占めています。このような農業の形態が発達した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
1. 瀬戸内の温暖な気候を利用して、特定の果実を輸出用に大量生産することに特化したから
 2. 伝統的な工芸品の原材料となる特殊な作物を栽培するために、地域全体で契約栽培を行っているから
 3. 京阪神という大消費地が近くにあるため、鮮度が求められる産品を効率よく供給できるから
 4. 平野部が少なく山がちであるため、広大な土地を必要とする稲作よりも付加価値の高い作物に限定しているから
- 問2 京都、大阪、神戸の三つの大都市を中心に形成されている広大な都市圏において、日本最大の湖である琵琶湖を水源とする水系によって、膨大な人口の生活が支えられています。この都市圏の名称と、関係の深い水系の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 京浜大都市圏と利根川水系
 2. 阪神大都市圏と信濃川水系
 3. 中京大都市圏と木曽三川水系
 4. 京阪神大都市圏と淀川水系
- 問3 天橋立のような砂州が形成される主な要因と、その場所に与える地理的な影響に関する記述として、正しい背景を説明しているものはどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
1. 沿岸を流れる海水が砂を運搬・堆積させることで形成され、湾の一部を囲い込むことで内側に閉鎖的な水域(潟湖など)を作り出す。
 2. 河川から流入する大量の土砂が波の力に打ち勝って堆積することで形成され、海岸線を単調な直線状に変化させる。
 3. 季節風によって運ばれた大量の砂が海岸に積み上がることで形成され、背後の平野部を砂害から守る防砂林として機能する。
 4. 海面が低下することで海底の砂が露出して形成され、元々島であった場所を陸続きにする「陸繋島」を必ず形成する。
- 問4 江戸時代の大阪が「天下の台所」として、全国の商業の中心地となった背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海などの海路や河川交通を活かして全国の物産が集まり、諸藩が年貢米を管理・販売する蔵屋敷を置いたから。
 2. 広大な大阪平野を背景に、世界最大の人口を抱える消費都市として、海外から直接大量の物資が輸入されたから。
 3. 戦国時代から鉄砲の製造など高度な工業技術を持ち、自由な商取引を認める「楽市・楽座」によって商業が活発化したから。
 4. 古くから天皇の住まいが置かれたことで政治の中心地となり、全国の寺院への寄進物や高級工芸品が集まったから。
- 問5 琵琶湖から流れ出る水が都市部で利用される仕組みや、その管理のあり方について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 琵琶湖から流出した水は、河川を経由して各地の浄水場で飲み水などに適した処理が施された後、京阪神の各家庭へ供給される。
 2. 浄水場での技術が向上したため、水源である琵琶湖や河川的环境保全に取り組む必要性はなくなっている。
 3. 琵琶湖の水は主に農業用水としてのみ利用され、都市部の生活用水はすべて海水を淡水化したものを使用している。
 4. 琵琶湖から大阪湾に至るまでの河川では、水害を防ぐための治水よりも、水力発電による電力供給が最優先されている。
- 問6 兵庫県の繊維工業において、タオルなどの特産品の生産を維持・拡大するために行われている取り組みの内容と、その目的の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 伝統的な製法を維持するために、機械による製造をすべて禁止して希少性を高める。
 2. 繊維工業の全工場を石油化学コンビナートの隣接地に移転させ、生産コストを削減する。
 3. 大量生産による低価格化を徹底し、安価な輸入品を市場から排除する。
 4. 製品をブランド化して付加価値を高め、他地域や海外製品との差別化を図る。
- 問7 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武將たちが拠点を湖岸へと移していった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
 2. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防御上の利点があった。
 3. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。
 4. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。
- 問8 日本最大の湖である琵琶湖は、近畿地方の周辺自治体へ水を供給する「近畿の水がめ」としての役割を果たしています。この琵琶湖が位置する滋賀県の県庁所在地について、その名称と地理的な特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 滋賀県の県庁所在地は彦根市であり、琵琶湖の東側に位置している。
 2. 滋賀県の県庁所在地は草津市であり、琵琶湖の南東側に位置している。
 3. 滋賀県の県庁所在地は天津市であり、琵琶湖の南西側に位置している。
 4. 滋賀県の県庁所在地は奈良市であり、琵琶湖から離れた盆地に位置している。
- 問9 兵庫県は、近隣の府県と比較して約20兆9378億円という際立って高い県内総生産を記録しています。このように兵庫県の経済規模が大きくなっている地理的・産業的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 県内の重要文化財件数が466件と全国有数であり、国際的な観光都市としてのサービス業収入が経済の大部分を占めるため。
 2. 瀬戸内海に面した香川県や山口県と同様に、内海での養殖業を中心とした水産業が経済規模を押し上げているため。
 3. 大阪から神戸にかけて広がる阪神工業地帯の中核を担い、臨海部の重化学工業や内陸の地場産業が発展しているため。
 4. 広大な平野部を利用した農業産出額が非常に高く、近畿地方における食料供給基地としての役割が経済を支えているため。
- 問10 近畿地方の各府県の統計をまとめた資料において、大阪湾の北西部に位置する兵庫県の県庁所在地として示されている都市はどこですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 奈良市
 2. 神戸市
 3. 大阪市
 4. 京都市
- 問11 神戸市で行われた大規模な都市開発の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 河川の下流に広がる三角洲を大規模に改良し、地盤をかき上げて工業用地として利用した
 2. 沿岸部の遠浅の海を堤防で締め切り、内部の水を排水する干拓によって広大な農地を造成した
 3. 内陸の丘陵地を削ってニュータウンを造成し、その土砂を用いて沿岸部を埋め立てて人工島を造成した
 4. 山間部の森林を切り開いて段々畑を作り、傾斜地を利用した果樹栽培専用の地域を形成した